



まずは、題材のねらいと評価規準を設定しましょう

- ねらい**・形や色彩、光、空間や遠近感、アングルなどの効果や、被写体の印象や特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。(知識及び技能)
- ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じた表現方法を選択し、創造的に表す。(知識及び技能)
 - ・自己の経験や想像したこと、対象や事象を深く見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、効果的に表現するための構図などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練る。(思考力、判断力、表現力等)
 - ・造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。(思考力、判断力、表現力等)
 - ・主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|--|--|
| ・形や色彩、光、空間や遠近感、アングルなどの効果や、被写体の印象や特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。〔共通事項〕(1)ア、イ ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じた表現方法を選択し、創造的に表している。 「A表現」(2)ア(ア) | ・自己の経験や想像したこと、対象や事象を深く見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、効果的に表現するための構図などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 「A表現」(1)ア(ア) ・造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めている。 「B鑑賞」(1)ア(ア) | ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 |

つぎに、ゴールを見据えて題材を構想しましょう

題材の指導と評価の計画

(●…指導に生かす評価 ○…記録に残す評価)

| 時間 | 主な学習活動など | 知 | 思 | 態 |
|----|--|---|--------|---|
| 1 | 写真を用いた多様な表現について考える。 | ● | | ● |
| 2 | 班の話合いを基に、表現したい作品の主題(テーマ)を生み出す。 | | ● | |
| 3 | 主題を基に構想を練り、アイデアスケッチを描く。 | ○ | ○ 発 | |
| 4 | 発想や構想を基に、班の主題に適した表現方法を工夫し表す。 | | | |
| 5 | 他の班との交流を通して、主題がよりよく表現できているか再考する。 | | | |
| 6 | 主題が表現できるよう画像の効果を生かし、タブレット上で画像編集を行う。 | | | |
| 7 | 相互鑑賞を通して表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 | | ○ 鑑 | ○ |

※ 発…発想や構想 鑑…鑑賞

題材の見通し

写真を用いた多様な表現について考え、表現したい主題を班ごとに決めます。写真を用いることにより、自由に色合いや構図を変化させることが容易になります。仲間と意見交換を行いながら試行錯誤する時間を確保するとともに、他の班と作品を鑑賞し合い、お互いの作品のよさを味わったり、新たな視点に気付いたりしながら表現活動に取り組めるようにします。



ICTの活用

タブレットで様々な作品を鑑賞したり写真を撮影したりしながら、主題に合う構成について話し合えるようにします。また、各班が撮った写真を Teams で共有し、意見を交換する中で、他の班の表現の工夫や、自分の班の作品の改善点に気付けるようにします。これらの活動は、作品のよさや美しさを感じ取りながら造形的な視点を豊かにすることにつながると考えます。

本時のねらい 他の班との交流を通して、主題のよりよい表現方法を考える。

この時間は、前時に撮影した写真について、その主題と工夫した点を Teams で共有し、お互いにコメントを送ります。この活動を通して、自分の班の作品がもつ新たな側面や、他の班の表現方法の工夫に気づき、より主題に迫る構成について考えます。

学 習 活 動

1 学習課題を確認する。

- これまでの学習内容を振り返る。

主題を基に作品を見つめ直そう。

2 主題に合った写真を選ぶ。

- 前時に撮影した写真の中から、自分たちの主題に最も合っている写真を選ぶ。
- 選んだ写真に、主題と、主題を表現するために工夫した点を書き加える。

3 選んだ写真について意見を交換する。

- 写真を Teams で共有し、他の班の作品について感じたことをコメントする。

4 班の主題と他の班からのコメントを照らし合わせて作品を見直す。

- 他の班のコメントから、作品の新しい側面や改善点を確認する。
- より主題に迫る表現になるように加工による効果を試す。

5 本時の振り返りをする。

- 振り返りシートの記入を行う。



本時の見どころはココ!

【写真の説明】

〇〇〇中学校 生徒 A 10:41
 動画から切り取りました。
 テーマは「夢」です。
 逆光を意識して撮りました。



【他の班からのコメント】

- 〇〇〇中学校 生徒 B 10:49
カメラの位置がすばらしい。
- 〇〇〇中学校 生徒 C 10:50
光や砂の感じから躍動感が伝わってきていいと思いました。
- 〇〇〇中学校 生徒 D 10:50
躍動感があって素晴らしい。
- 〇〇〇中学校 生徒 E 10:50
躍動感があって日光を使って撮った点もいいと思います。

- 撮影した写真に、主題と工夫した点を書き加えて Teams で共有し、他の班からコメントをもらうことで、自分たちの作品がどのように感じられているのかということを確認できるようにします。

- タブレット上で、画像に様々な加工を施しながら、主題をより的確かつ効果的に表現することができるようになります。
- 保存したいいくつかの作品を比較しながら、その効果を確認することができるようになります。



主題の「夢」と、友だちにほめられた「躍動感」を表現できるように、色の鮮やかさを調整したらどうかな。



生徒の振り返り

班で撮影した写真について、他の班から感想をもらうことで、自分の班では気付かなかった、写真がもつ新たな魅力を知ることができました。また、他の班の写真を見て、様々な工夫に気付いたので、自分の班にも取り入れたいと思いました。次の時間は、班の仲間と意見を出し合い、構図や色合いを工夫したいろいろなパターンを試しながら主題に迫っていきたいです。

最後に、題材を振り返り、生徒にどんな力が身に付いたか確認しましょう



デジタルの写真は ICT 機器を利用することで、加工を施したり、やり直したりすることが容易になるので、主題に迫るために試行錯誤する時間を十分に確保し、自分たちの主題のイメージに合う表現方法について考えることができました。また、作品を Teams で共有し意見交換したことで、他の班の工夫に気付いたり、友達の意見から自分の班の作品のよさに気付いたりすることができました。主題を基に様々な視点から作品の構想を練ることを通して、造形的な視点を豊かにすることができました。